

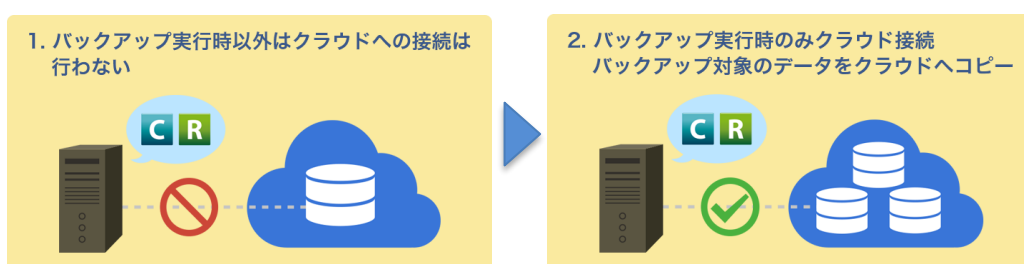
2023年12月19日

株式会社ファインデックス
(東証プライム市場、コード:3649)

専門病院・クリニック向けにクラウドバックアップサービスの提供を開始

株式会社ファインデックス（本社：東京都千代田区、代表取締役：相原輝夫、以下当社）は、専門病院・クリニックのお客様を対象に「クラウドバックアップサービス」の提供を開始いたしました。「クラウドバックアップサービス」は、診療情報のバックアップデータや、施設で保管したい資料等のデータをより安全なクラウドストレージに保存し、運用するサービスです。バックアップデータ保存のためのハードウェア管理や、管理コストの削減が期待でき、ランサムウェア等の悪意ある攻撃からデータを安全に守ります。万が一のランサムウェア感染時にも、保管されたデータを復旧させることで被害は最小限に抑えられ、BCP（事業継続計画）*1 対策にもなります。

バックアップ実行時以外はクラウドへの接続を行わないため、データの安全性を保ち、バックアップ開始時にはサーバ本体のデータがランサムウェアに感染していないかチェックし、感染したデータのコピーを未然に防止することができます。また、ご契約の容量により最新のバックアップデータだけでなく、それ以前のバックアップデータを世代管理*2し、感染していないデータを復元することが可能です。



ランサムウェアを含むサイバー攻撃は年々増加しており、医療機関への攻撃も例外ではありません。サイバー攻撃による診療システムの停止は、医療の提供に直接的な影響を与えています。システムのセキュリティ部分の脆弱性を突かれ攻撃の窓口となるケースが多いため、システムの継続的な監視とアップデートが不可欠です。

2023年5月に公表された、厚生労働省による医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第6.0版は、こうした脅威に対する防御対策をより一層強化することを目的として定められました。当社が提供を開始した「クラウドバックアップサー

ビス」は、厚生労働省の指針に基づき、医療機関をサイバー攻撃から守るための体制を整備することを支援します。これにより、万が一攻撃を受けた場合でも診療への影響を最小化し、より安全な業務復旧が可能となります。

当社は、全国の医療機関に革新的なソリューションを提供し、業務効率化やデータの保護を通じて医療現場全体の安全性と効果性を高めることを目標のひとつとしております。より良い医療の提供を支援すべく、医療従事者や患者の安心・安全の確保のために、今後も新たな取り組みに挑戦してまいります。

*1 「BCP（事業継続計画）対策」とは、災害や緊急事態が発生した際に企業や組織がその影響を最小限に抑え、事業活動を継続するための計画です。

*2 「世代管理」とは、バックアップ手法の一つで、最新のデータを保管するだけでなく、過去の複数の時点のデータを保管しておき、指定した時点のデータを復元できるようにすることです。

製品概要：<https://findex.co.jp/products/medical/cloud-backup/index.html>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ファインデックス 広報・IR 担当

東京都千代田区大手町1丁目7-2 東京サンケイビル 26F

お問い合わせフォーム：<https://findex.co.jp/inquiry/index.html>

TEL：03-6271-8958